

特定非営利活動法人日本火山学会  
平成 24 年度臨時総会議事録

- 日時：平成 24 年 10 月 15 日(月)  
午後 3 時 50 分から 4 時 20 分
- 場所：長野県北佐久郡御代田町  
エコールみよた あつもりホール
- 出席者：維持会員 55 名、有効委任状数 90 通  
合計 141 名
- 議案：
  - 新役員紹介の件
  - 平成 24 年度事業経過報告の件
  - 議事録署名人承認の件
  - その他
- 議事の経過の概要および議決の結果  
出席者(委任状を含む)が 141 名で、定足数 92 名を超えていることを確認し、議長(定款により学会の会長)が平成 24 年度日本火山学会臨時総会の開会を宣言した。

- 第一号議案 新役員紹介の件  
新役員の紹介(資料 1)が宇都会長より報告され、全員異議なくこれを了承した。
- 第二号議案 平成 24 年度事業報告の件  
平成 24 年度の事業について各担当理事からの報告(資料 2)に基づき議長が諮り、全員異議なくこれを了承した。また、除名者について審議を行い、全員異議なく承認した。
- 第三号議案 議事録署名人承認の件  
議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人 2 名を選出することを諮り、森田裕一氏および平林順一氏を選出することを全員異議なく承認した。
- 第四号議案 その他  
桜島大正噴火 100 年記念事業について井口会員より説明(資料 3)があり、全員了承した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 24 年 10 月 15 日

議長 宇都浩三 印  
議事録署名人 森田裕一 印  
議事録署名人 平林順一 印

(資料 1) 新役員・理事担当

- 会長 宇都浩三 (産業技術総合研究所)  
(兼 将来計画委員・IAVCEI 実行委員)
- 副会長 井口正人 (京都大学防災研究所)
- 理事 大湊隆雄 (東京大学地震研究所:庶務)  
寅丸敦志 (九州大学大学院理学研究院:編集)  
下司信夫 (産業技術総合研究所:大会)  
森 俊哉 (東京大学大学院理学系研究科:財務)  
星住英夫 (産業技術総合研究所:事業)  
金子隆之 (東京大学地震研究所:他学会連絡)  
高田 亮 (産業技術総合研究所:各賞選考)  
藤田英輔 (防災科学技術研究所:国際)  
萬年一剛 (神奈川県温泉地学研究所:学校教育)  
中村洋一 (宇都宮大学教育学部:火山防災)  
中田節也 (東京大学地震研究所)  
山里 平 (気象庁地震火山部火山課)
- 監査 富樫茂子 (産業技術総合研究所)  
渡辺秀文 (東京都)

(資料 2) 平成 24 年度事業経過報告

(1) 庶務委員会 (大湊理事)

1. 入退会希望・会員数について

	維持	学術	一般	団体	名誉	計
2012 年連合大会後	276	677	40	15	8	1,016
入会承認	0	38	2	0	0	40
会員継続	0	7	0	0	0	7
逝去	0	1	0	0	0	1
除名	1	7	0	0	0	8
2012 年秋季大会総会后	275	714	42	15	8	1,054
2012 年度退会予定	2	0	1	0	0	3

春季総会(連合大会)時点での除名対象者 14 名のうち 7 名から 8 月末までに会費が納付されたため、除名者が 8 名と減少した。

2. 主催・共催・協賛・後援について

協賛 4 件

- 第 38 回リモートセンシングシンポジウム (主催: 社団法人 計測自動制御学会)
- 国際地学オリンピック (主催: NPO 国際地学オリンピック日本委員会)
- 日本地熱学会平成 24 年度学術講演会 (主催: 日本地熱学会)
- 海洋調査技術学会第 24 回研究成果発表会 (主催: 海洋調査技術学会)

共催 0 件

- 後援 0 件
3. 人事公募について
 

13 件の人事公募について「火山」に掲載を行った。
  4. 転載・使用許可について
 

8 件の申請を受け付けた。
- (2) 財務委員会 (森理事, 代読大湊理事)
1. 会計状況について
 

現在のところ順調である。

    - ・会費未納状況
      - 未払い(9 月末時点): 1,474,000 円
      - 未収金(2010 年・2011 年): 1,830,000 円
      - 除名確定による徴収不能額: 183,000 円

会費未納の会員は会費を納入するよう呼びかけがなされた
- (3) 編集委員会 (寅丸理事, 代読大湊理事)
1. 「火山」発刊状況について
 

【57-2 号】 2012 年 6 月 28 日発行

【57-3 号】 2012 年 9 月 30 日発行
  2. 「火山」発行予定・掲載予定原稿について
 

【57-4 号】 2012 年 12 月 28 日発行予定  
論説 2 件, 寄書 1 件

【58-1 号】 2013 年 3 月 29 日発行予定, 火山特集号を含む
  3. 査読編集状況について
 

現在査読編集集中の原稿: 計 15 編 (論説 12 編, 寄書 3 編)
  4. 桜島火山特集号について
 

投稿状況 (2012 年 10 月時点): 計 26 編 (論説 21 編 (受理 10 編, 取下げ 2 編), 総説 1 編(未受理), 寄書 2 編(未受理), 解説・紹介 1 編(未受理))

締切日当日(9 月 30 日)の 10 時現在で 15 編であったため, 最終的には 20 編程度となる見込みである。
- (4) 大会委員会 (下司理事, 代読大湊理事)
1. 2013 年度秋季大会について
    - ・ 会場: 猪苗代町体験交流館「学びいな」
    - ・ 日程: 2013 年 9 月 27 日(金)から 10 月 2 日(水)
      - 5 月定例総会での報告より 1 週間前倒し
      - 9 月 27 日～28 日 プレ現地討論会 (男体那須火山方面)
      - 9 月 28 日 公開講座・磐梯山ジオツアー
      - 9 月 29 日～10 月 1 日 学術講演会
- 9 月 30 日夕方 懇親会  
- 10 月 1 日～2 日 ポスト現地討論会 (磐梯・吾妻火山方面)  
磐梯山ジオツアー
- ・ LOC: 磐梯山噴火記念館・宇都宮大学・防災科学技術研究所
  - ・ 共催: 磐梯山ジオパーク協議会 (猪苗代町, 磐梯町, 北塩原村)
  - ・ 講演申込締切: 2013 年 8 月 9 日(金) (予定)
  - ・ 宿泊: ホテルリステル猪苗代 推奨 (送迎バスの都合) 他施設も照会中
  - ・ 平成 25 年度科研費・研究成果公開促進費に申請予定
2. 2013 年度日本地球惑星科学連合大会について
 

現在, セッション提案を受付中 (10 月 26 日締切). 火山学会が提案母体となっているセッションは 4 件 (10 月 10 日現在).

2012 年度は 7 件であり, 火山関係のセッション提案を募集中.
- (5) 事業委員会 (星濟理事, 代読大湊理事)
1. 学会シンボルマーク(ロゴマーク)の普及について
    - ・ ロゴマーク入り T シャツを 70 枚(ロゴ 2 種類, 7 色, サイズ L,M)を発売したところ完売した。
    - ・ 要望が多いようであれば再発売を予定。
    - ・ 昨年度作成したロゴマーク入りマグカップの販売中。
  2. 第 13 回地震火山子どもサマースクールについて
 

第 13 回地震火山子どもサマースクール「東と西に引き裂かれた大地のナゾ」が開催された。

    - ・ 日程: 8 月 18 日(土), 19 日(日)
    - ・ 活動場所 ヒスイ王国館, ホテルホワイトクリフ, ビーチホールまがたま, 糸魚川ジオパーク各所など
    - ・ 主催: 公益社団法人日本地震学会, 特定非営利活動法人日本火山学会, 日本地質学会, 糸魚川ジオパーク協議会
    - ・ 後援・協賛: 内閣府, 文部科学省, 国土交通省, 消防庁, 気象庁, 独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター, 新潟県, 新潟県教育委員会, 糸魚川市, 糸魚川市教育委員会
    - ・ 参加者: 33 名 (小学生 18 名, 中学生 10 名, 高校生 5 名)

来年度は調整中. 候補は伊豆半島ほか
- (6) 他学会連絡担当委員会 (金子理事, 代読大湊理事)
1. 学術雑誌関係について
 

文科省科研費成果公開促進費の大きな改変に対応し, EPS 誌の新装(レター中心)と JpGU 新雑誌(レビュー重視)

の創刊準備が進んでいる。

- H25 年度分の公開促進費は EPS と JpGU 新雑誌が別個に申請
  - 2016 年 1 月から共同出版し、5 年後の公開促進費申請は一緒に行う
  - EPS 運営委員会に JpGU 委員が参加
2. 新装 EPS 誌について
- 現行の article 中心から letter 中心に変更
  - オープンアクセスの電子ジャーナルに  
(投稿料で運営、読者はフリー)
  - 2013 年 1 月より先行して全論文をオープンアクセス化
  - 現行プラットフォームによる投稿は 2013 年 3 月まで
  - 投稿料はレター 400 ドル・その他 800 ドルを予定。減額制度もあり
  - 出版社は、現在のテラパブ社から Cambridge University Press を検討中
  - 火山学会の分担金はこれまでどおり 20 万円/年
  - 編集長は北海道大学・蓬田清さんから東京工業大学の小川康夫さんに交代
3. 新 JpGU 誌について
- 2014 年 1 月創刊予定、2013 年連合大会から原稿募集開始
  - レビュー重視のジャーナルとし、インパクト・ファクター 2.5 以上を目指す
  - オープンアクセスの電子ジャーナルに  
(投稿料で運営、読者はフリー)
  - 投稿料は国内 2 万円、海外 1000 ドルを予定
  - 当初は、幕張大会の国際セッション発表の中から座長推薦により invite
  - 出版社は Cambridge University Press を検討中
  - 編集委員会 科研費の制約から半数を外国人とする(日本人 25 人+外国人 25 人)

(7) 国際委員会(藤田理事, 代読大湊理事)

1. 国際会議セッション提案奨励事業について
- 1 件の応募があり理事会により採択決定
- 氏名: 中道治久(名古屋大学大学院環境学研究科)
  - 会議名: AGU 2012 Fall Meeting (2012 年 12 月 3 日~7 日)
  - 採択セッション名: Vulcanian Eruptions: Field Observations, Experimental Constraints and Integrated Modeling

- コンビナー: H. Nakamichi, J. Taddeucci, G.P. Waite, A. Yokoo
- 支給費: 20 万円

(8) IAVCEI2013 委員会(宇都理事)

1. IAVCEI2013 学術総会について

- 日程: 2013 年 7 月 20 日(土)~24 日(水)  
19 日: Ice Breaker, 22 日: 中日巡見
- 会場: 鹿児島市(かごしま県民交流センター他)
- 2nd circular を近日ホームページに公開  
<http://www.iavcei2013.com/>
- 論文投稿締切: 2013 年 1 月 31 日
- Grant 申請締切: 2013 年 1 月 31 日
- 早期登録締切: 2013 年 5 月 1 日
- 火山学会員割引登録料適用
- 若手参加補助(Grant)も同時に募集予定  
途上国の若手研究者の招聘など会議成功のための寄付の呼びかけがなされた

(資料 3) 桜島大正噴火 100 周年事業について

- 桜島大正噴火 100 周年事業の経緯と予定  
2015 年 1 月 12 日に大正 3 年の大正噴火から 100 年を迎えるにあたり鹿児島県・鹿児島市が中心となり、火山に関する様々な情報を発信し防災意識の高揚を図ることを目的に実施
- IAVCEI 学術総会にあわせて会場前で「ふれあい火山フェスタ」を開催予定
- 詳細はホームページを参照  
<http://sakurajima100.org/>
- 火山学会員のブログなどによる情報発信のお願い
- シンボルマークの募集を受付中